

文化の炎

灯し続けよう
文化の炎
2年ぶりの開催
文化継承への1歩

11月6日のオープニングフェスティバルを皮切りに、令和3年度東温市文化祭が2年ぶりに開催されます。期間は川内会場が12月3日から5日、重信会場が12月10日から12日です。市文化協会（会長…大西としえさん）は「感染対策も行って、私たちの生活に欠かさない文化の火を絶やしてはいけない」と開催を決定。展示作品の制作や音楽芸能発

待ちわびた発表の場 絆をつなぎ、未来を照らす

表の練習を続けてきました。オープニングフェスティバルは「巧みなギターと織りなすフラメンコの世界」。会場は坊っちゃん劇場。ギタリストの智詠とフラメンコ舞踏家の伊須裕巳が、独自の世界観で会場にスペインの風を巻き起こします。文化祭のテーマである「炎」のように熱いステージをお楽しみください。文化祭各会場では期間中、文化協会会員の華道や書道、絵画作品を展示。各会場最終日は、メインステージで音楽芸能発表会を開催します。コーラスや吹奏楽団の演奏などが披露されます。文化祭、オープニングフェスティバルへの来場時は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、必ずマスク着用をお願いいたします。また37.5度以上の発熱や体調不良、コロナ感染者と濃厚接触がある場合は来場をお控えください。



東温市文化協会
会長 大西としえさん

～灯し続けよう！東温の文化の炎（ほむら）～ 令和3年度東温市文化祭スケジュール

- 各会場で会員作品を展示。最終日は会員出演の音楽芸能発表会を開催します。※今年は食品販売バザー等は実施しません。
- <川内会場（川内公民館）>
◇日時…12月3日（金）～5日（日）8時30分～21時（最終日は16時まで）／5日（日）音楽芸能発表会
- <重信会場（中央公民館）>
◇日時…12月10日（金）～12日（日）8時30分～21時（最終日は16時まで）／12日（日）音楽芸能発表会
- <オープニングフェスティバル>
「巧みなギターと織りなすフラメンコの世界～今宵この劇場にスペインの風舞う～」
◇日時…11月6日（土）19時開演（18時30分開場）
◇場所…坊っちゃん劇場（見奈良）
◇出演…ギター 智詠（chiei）／踊り 伊須裕己
◇入場料…500円（全席自由）
◇チケット販売…中央公民館、川内公民館
☎生涯学習課 964-1500



横河原区誌編集委員会
八木 通隆さん 伊藤 俊三郎さん 和田武さん（左から）



横河原区誌のお問い合わせは編集委員会事務局八木（☎964-2118）へ。販売は横河原ぶらっとHOMEでも受付中。

過去から未来へ

実録

今、解き明かされる
郷土の歴史と文化

横河原区誌
15年ぶりに改訂

横河原区の歴史を綴り、現代へと結びつけた「横河原区誌」。15年の時を経て、改訂版が発刊された。伊藤俊三郎区長をはじめ、編集委員会事務局を務めたのは八木通隆さんと和田武さん。発起人の八木さんは「横河原は伊予鉄道の延伸に伴って、新しくできた地区。他と比べて歴史は新しいです。今では市内でも人口密度の高い地域となりました。郷

「教育教材としても価値ある一冊」 全国でも珍しい地域単位での歴史を収録

土に愛着を持ってもらうためには、まずは歴史を知らないといけない。そのためのかげになってほしいと区誌を改訂しました」と話した。区誌には横河原区の人口規模の移り変わりや文化財の一覧などを写真とともに収録。ほかにも区長をはじめ民生児童委員、PTA支部長など歴代の役員名簿などを掲載。「初版から15年が過ぎ、横河原地区は公民館、多世代交流拠点施設横河原ぶらっとHOME、横河原駅舎の新築、愛媛医療センター前の道路整備など大きく様変わりしました。そんな中でも二本松や水天宮など、昔と変わらず在り続ける文化財は、後世に残し

ていく価値のあるものです」伊藤区長は「時代は変わり、文化財の意味も伝えきれいていません。自分も含めて、普段の生活で不便を感じる石碑などもあるので、区誌を読んで少しでも理解が広まれば」と笑った。八木さんは「発刊への理解を示してくれた区長をはじめ、区民の皆さん、そして編纂に尽力いただいた皆さんに感謝を伝えたい。区誌はすぐにできるものではない。区誌を見据えて蓄積した情報が形となった」と発刊までを振り返った。和田さんは「今回からは農林業の章も追加しました。どんな人も読み応えを感じられるものになったかな」と期待を込める。横河原地区を称する紫色のカバーに黄色の文字が光った。